

無効申請基準

下記の項目に該当するものは弊社で審査を行った上で、課金の対象外とさせて頂いております。該当資料請求日の翌月 2 営業日※1 までに管理画面よりご申請ください。期日の過ぎたご申請は受付が出来ませんのでご了承ください。

無効申請をして頂く際に、エビデンスの提出を必須とさせていただきます。

エビデンスの種類：お客様とのやりとりだと判断出来るメール、通話履歴、お客様より株式会社 Innovation & Co. へ提出の許諾を得ているエビデンスの提出をお願いいたします。

許諾を得ている事が確認出来ないエビデンスはお受けできません。

尚、無効完了のご報告は管理画面で製品(サービス)ごとにご指定いただく、担当者 1~5 のメールアドレス宛にシステム通知いたします。

原則として下記 9 つの条件のいずれにも当てはまらない場合は無効として認められませんので、あらかじめご了承ください。

- 「でたらめ」 → ■問い合わせ者への対応が不可能な程度に意味のない文字の羅列や記載情報の場合。
※基本的にエビデンスは不要ですが、ご申請内容によってはエビデンス提出を求める場合がございます。
※誤字脱字の場合は請求対象となります。
■電話が繋がるが在籍していないことが明確に確認できた場合

- 「競合」 → ■対象製品・サービスと同じ分野の商品を提供している企業からの場合
※「同じ分野」とは各掲載サービスのカテゴリとその掲載定義に準ずることとします。
※基本的にエビデンスは不要となりますが株式会社 Innovation & Co. にて確認できない場合は、競合と判断された根拠を示す資料をご提示頂く場合があります
※問い合わせ企業の関連会社が同じ分野の商品を提供している場合は請求対象となります。

エビデンス例：競合製品の機能等が確認出来る URL

「現在取引中の企業」

→■現在お取引中のお客様からの場合

※無効申請の際に、現在のお取引があることを示す資料（契約書類等）をご提示頂きます。

※取引は無いが営業中、またホームページからの問い合わせなどにより、接点があるものも請求対象となります。

※現在お取引があるお客様のグループ会社所属の方からのお問い合わせは請求対象となります。

エビデンス例：契約期間や発行日がわかる契約書類、サービスサイトに記載の導入事例

「個人利用」

→■以下の基準に該当する場合

屋号名	アドレス	
ある	会社アドレス	課金対象
	フリーメールアドレス	課金対象
なし/不備	会社アドレス	課金対象
	フリーメールアドレス	無効対象

※個人事業主や公益法人及び公共団体も請求対象となります

※屋号の確認が出来る場合は課金対象となります。

※屋号の確認が出来ない、または不備がある場合、弊社指定の以下フリーメールアドレスの場合は課金対象外となります。

※下記フリーアドレスの証明以外はエビデンス不要となります。

【弊社指定のフリーメールアドレス】

@gmail.com, @yahoo.co.jp, @ybb.ne.jp, @outlook.jp, @outlook.com,

@hotmail.com, @hotmail.co.jp, @hotmail.ne.jp, @au.com, @ezweb.ne.jp,

@nifty.com, @docomo.ne.jp, @i.softbank.jp, @softbank.ne.jp,

@icloud.com, @biglobe.ne.jp, @ocn.ne.jp, @dion.ne.jp, @so-net.ne.jp,

@msn.com

※その他捨てメールアドレスと証明いただけるものも対象とできます。

「連絡不通」

→■問い合わせフォームに入力された電話番号とメールアドレスが
両方とも不通の場合

※電話番号の不通：現在使われていない、余所につながる

↳不在が続く場合は請求対象となります

※メールアドレスの不通：不達通知が自動で戻ってくる
資料請求された方とは別の方に送信される

↳送信できたが返信がない場合は請求対象となります

エビデンス例：該当メールアドレスが不達になっている事がわかるメ
ールのキャプチャ

「重複」

→■ITトレンド内で2か月以内に

同一利用者から複数回資料請求があった場合

※同一個人と認められる場合に限りです

※セグメントプランをご契約の場合、「セグメントプラン実施製品と
通常プラン製品の重複」または「セグメントプラン実施製品同士の
重複」について単価が低いものを無効とさせていただきます

※エビデンスは不要となります。

「間違い」

→■該当製品・サービスへ問い合わせや資料請求を行っていないことが
明確に確認できている場合

申請パターン		エビデンス
カテゴリ間違い	無効対象	メールキャプチャ等
操作間違い	無効対象	メールキャプチャ等
ニーズ不一致	課金対象	
欲しい機能がない	課金対象	
覚えてない/わからない	課金対象	
ガチャ切り	課金対象	

※未コンタクト・推測とされるものは請求対象となります。

※提供対象エリア外からのお問い合わせも請求対象となります。

(対象エリアは一部カテゴリで参考表記としてご用意している項目)

※欲しい機能がない等の、ニーズ不一致は請求対象となります

※覚えてない、わからない等の回答や、ガチャ切りされた場合は
請求対象となります。

エビデンス例：

- ・ユーザー様が「誤ってこちらのカテゴリーへ資料請求をした事」が確認出来るメールのやりとり, 架電履歴
- ・ユーザー様が「誤って操作してしまい、貴社に問合せするつもりは無かった事」が確認出来るメールのやりとり, 架電履歴

「公序良俗」 →■反社会的勢力やアダルト業界からの資料請求があった場合。
※判断された根拠を示す資料をご提示頂く場合があります。
※問い合わせ企業の関連会社が本条件に該当する場合は請求対象となります。

「売り込み」 →■貴社に対する営業、売り込み意図が明確な場合。
※協業・パートナー・再販希望のものは無効申請条件には含まれません。

エビデンス例：

商談目的の内容がわかるメールのキャプチャ

※1 請求書の発行日変更をされた場合、申請締め切り日も合わせて前倒しとさせていただきます

改定日：2025年12月16日

適用開始日：2025年12月18日